

## 平成 28 年度愛知農業賞表彰式を開催しました

公益財団法人愛知県農業振興基金では、愛知県の農業・農村の振興や発展に尽くした個人や団体を表彰する農業振興功労者表彰事業（表彰名：愛知農業賞）を平成 18 年度から実施しています。

このたび、平成 28 年度の受賞者が決定し、平成 28 年 12 月 19 日（月）午後 2 時から J A あいちビルにおいて表彰式を開催しました。



（受賞者 左から吉野隆子氏、夏目安勝氏、鋤柄農機株式会社、鈴木明氏）

受賞者のプロフィールは次のとおりです。

担い手育成部門：吉野<sup>よしの</sup>隆子<sup>たかこ</sup>氏（名古屋市）

名古屋市の「都市公園オアシス 21」で毎週土曜日に朝市村を開催し、有機農業者の販路開拓や交流の場を提供している。

また、朝市村に就農相談コーナーの創設、先進有機農業者による研修体制の構築など、有機農業における担い手の育成に尽力しました。

これまでに 27 名が新規就農し、有機農業を通じて農業理解の促進や地域の活性化にも大きく貢献しました。

担い手育成部門：夏目 <sup>なつめ</sup> 安勝 <sup>やすかつ</sup> 氏（新城市）

教諭として38年間勤め上げ、「考える農業経営の実践」を指導するとともに、地元で若手農業者に特産品の栽培指導を行うなど新城地域の農業を担う人材の育成に尽力しました。

また、JA愛知東「こども農学校」に協力し、次世代の農業を担う子供達が、この地域の農業者を志すよう長年支援し、これまでに「こども農学校」の卒業生5名が就農しました。

技術改善部門：鋤柄農機株式会社 <sup>すきがらのうきかぶしがいしゃ</sup>（岡崎市）

愛知県農業総合試験場が開発した不耕起V溝直播栽培技術の実用化・安定化に向けた試験に積極的に協力し、水稻栽培の作業効率の向上に貢献しました。

また、県内キャベツ生産農家の意見要望を取り入れるなど、地域に密着した作業機の研究開発を行い、愛知県農業の生産力アップおよび産地振興に貢献しました。

農業・農村振興部門：鈴木 <sup>すずき</sup> 明 <sup>あきら</sup> 氏（小牧市）

小牧のモモ専作農家として、地域に合った日川白鳳の導入や栽培技術の指導を積極的に行い、モモ生産部会活動の充実を図り、産地振興に尽力しました。

また、モモ幼果を活用した加工品づくりや地元住民を募集したモモ栽培サポーターの育成指導に熱心に取り組み、モモ産地を支える人材育成と地域農業の活性化に貢献しました。